



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第47号
令和7年 3月12日
「第35回川越中学校卒業証書授
与式」旅立つ背中は僕らの誇り

四気とは・・・川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」の4つの気を大切にします！

3月6日旅立ちの日に・・・『感謝の想い』がいっぱいつまった卒業式。
『感謝』届け！卒業生の思い！在校生の思い！みんなが川中生で
本当に良かったって思える卒業式！卒業おめでとう！
やっぱり「川越中学校は先輩の姿から学べる学校」でした。

卒業生全員から・・・川中は先輩の姿から学べる学校ですという『心のBATON』
を2年生・1年生にしっかりとつないでくれました！「心のBATON」を2年生・
1年生が確実に引き継いでくれると思います！期待しています！



『第35回 川越中学校卒業証書授与式』卒業生と在校生と
先生たち一緒に創り上げた卒業式。3月の風に想いをのせて 桜のつぼみ
と、チューリップのつぼみは着実に夢と希望がいっぱいの春へと続きます！



3年間の思い出を胸に、大切な仲間、大事な
後輩、お世話になった先生、そして、どんなとき
でも支えてくれた家族にいっぱい「ありがとう」
の思いを「ハイ！」という大きな返事、堂々としっ
かりとした行動と心のこもった全力の合唱で示し
てくれました。その卒業生の立派な姿を2年生・
1年生の代表として参加した後輩、そして来賓
の皆さまに見てもらえて本当に嬉しいです！最
後までカッコよく、憧れの先輩のままでした！

旅立つ背中は僕らの「誇り」～ 後悔のない旅立ち 僕らが贈る感謝の式典 ～

この言葉は、令和元年度の川越中学校卒業式で、大好きで憧れの先輩を見送る2年生と1年生の拡大室長会のメンバーが「どんな卒業式にしたいか」を考えて、2年生と1年生が発案した『卒業式テーマ』です。コロナ禍前年の卒業式だったため、2年生・1年生が全員参加の卒業式。2年生と1年生の各クラスの室長会のメンバーと生徒会本部役員が『拡大室長会』を立ち上げ、「今までお世話になった3年生の先輩を気持ちよく送り出したい」という思いから、「どんな卒業式にしていくなのか」「どのように感謝の気持ちを卒業式に表現して創り上げるのか」を意見を出し合い時間をかけて話し合ってきました。この卒業式テーマを設定した理由は、『3年生の先輩を誇りに想い、「川中は私たちにまかせてください！」という気持ちを先輩に示す』でした。



【送辞】で想いを伝える「小林 さん」

あれから6年が経過し、川越中学校の校長として関わってきた今年度令和6年度の卒業式は、6年前の卒業式と同じです。2年生・1年生の後輩の卒業式参加は室長会と生徒会本部役員だけとなりましたが、参加をしてくれたみなさんの想いと、前日までの会場準備や教室掃除やトイレ掃除、玄関掃除などを一生懸命に取り組んでくれたみなさんの想いと行動は、本当に6年前と同じです。そして、在校生代表として『送辞（そうじ）』を、心のこもったしっかりと想いが伝わる代表としてふさわしい送辞でした！ありがとうございます！



在校生代表『送辞（そうじ）』在校生代表2年2組 小林 さん

冬の寒さが残りつつも日差しの中に春の気配が感じられる季節となりました。今年は、新校舎建て替えのため、全学年そろっての卒業式は行われませんが、場所は違っても、私たち在校生一同は、卒業生の皆様の晴れ舞台を祝福する気持ちでいっぱいです。

このような良き日に、卒業を迎えられた卒業生のみなさんご卒業おめでとうございます。

【『式歌合唱（時の旅人）』卒業生と在校生代表と一緒に合唱をしました！】



今思い出すと先輩方と過ごした日々が、とても懐かしく感じます。先輩方と初めて出会った入学式。落ち着いた様子から、大人な風格を感じるとともにあこがれをもちました。先輩方と一番多くの時間を過ごした部活動。先輩方には、大変お世話になりました。練習では、「さあいこう！」と私たちのことを前向きに励ましてくださいました。その言葉のおかげで、楽しくも辛い練習を乗り切ることができました。最後の大会では、よい緊張をもってコートへ向かう頼もしい姿。試合終了の合図とともに、一緒に部活動に励んだ仲間を思いやる、優しさのこもった涙があふれていました。私たちは、先輩方の姿から「チーム一丸となって試合に臨むこと」「最後までやりきること」の大切さを学びました。そんな先輩方に少しでも近づけるように、私たちも頑張っていきます。

体育祭では、全力で一生懸命な姿が印象的でした。特に、リレーではクラスで一丸となりバトンをつなぐ姿に感動しました。その姿には、先輩方の三年間の絆があってこそだと感じ、来年は、私たちが互いを信じて走れるようになりたいと思いました。体育祭でも学校のリーダーとして引っ張ってくださったことが頼もしく尊敬の念がさらに強まりました。

そして、先輩方にとって最後の文化祭。どのクラスも一致団結して最後の行事に向かう姿がとても印象に残りました。一生懸命歌う姿。指揮。伴奏。その姿を見たとき「わたしたちもこんな三年生になりたい」と思いました。一番印象に残ったのは、学年合唱「時の旅人」です。声の大きさに迫力があり、ハーモニーからは三年間を共に過ごした「仲間との思い出や絆」が心の中に流れてきました。私たちも、「全力でお互い助け合えるような学年」を作っていきたいと強く感じた瞬間でした。

振り返れば、私たちはみなさんから本当に多くのことを学びました。いつも校長先生が言ってみえた「先輩の姿から学べる学校」という言葉通りの二年間でした。

先輩方の頑張っている姿をみると苦手なんことでも「挑戦しよう」という気持ちになりました。私たちも、先輩方のように後輩に勇気を与えられるようになりたいです。そして、私たちも「先輩の姿から学べる学校」を受け継いでいきます。先輩方のかっこよかった姿。忘れません。今まで本当にありがとうございました。

【「答辞」卒業生代表「中村さん」】



【卒業式に参加した在校生の感想から一部抜粋して紹介】

◆私は卒業式に参加しました。まず、最初にその雰囲気によって圧倒されました。先輩たちの表情から「絶対良い卒業式にする。最後をしめくくる良い式にしてやろう」という思いや、3年間の思い出を思い返したのか、涙を流すほどの思いが溢れてきました。先輩たちの表情を見て、私は、私もこれだけの思いが込み上げるような卒業式を迎えられるような、濃い中学校生活を送りたいと思いました。そのためにすべての行事を真剣に取り組む、たくさんの仲間とたくさんの思い出をつくりたいです。答辞では、私たち後輩への思いが伝わっていました。後輩への指示をどう出すのかたくさん考えてくれていたことを知り、すごく嬉しかったし、私も後輩のために全力を尽くせるような先輩になりたいと強く思いました。

◆私は「1年後になりたい姿」は自信のある自分です。理由は最近のことにあります。それは卒業式の在校生代表としての送辞の練習です。あいあいホールでの練習後、1回外で練習をしたとき、とある先生に言われました。「あなたは自分に自信がないよね」と言われて思いました。「あっ、自分は確かに自信がないな」と思いました。そこから「自分は自信がないのに送辞なんてできるのかな」と思ってしまったけど、先生方に「自分には自信があるんだ、自分に任せてもらえて良かった」と思ってもらえるようになろうと思い、全力で送辞にむけての練習をして、取り組むことができたなと思いました。そのような姿から、1年後は何をするにも自信を持って全力で取り組めるように頑張っていきたいと思いました。今回の送辞でその目標に1つつながったので、これからも頑張りたいです。

◆会場に入った瞬間から緊張感がすごくて、3年生の先輩たちが入場してきたときに、その空気の倍の緊張感があったし、3年生の姿勢がとてもよかったと思った。卒業証書を受け取る時の返事がハッキリしていてすごかったです。歌声もキレイですごかった。最後の3年生代表の人の答辞のとき、その人の話し方がすごくて周りの人が一気に涙を流していました。

◆卒業式では、3年生はとても真剣に取り組んでいて、1回しか練習をしていないのにあそこまで完璧にできてすごいと思い、歌も「時の旅人」と一緒に歌うときはとっても迫力があった。ホールの椅子だと、立つときに「パタン」と音が鳴るけど、3年生はその「パタン」という音がそろっていて驚きました。自分たちもあんな卒業式にしたいなって思いました。